

令和7～8年度
(令和7年 1月作成)

稲作こよみ

あいら農業協同組合
NOSAIかごしま中部支所
霧島市・始良市・湧水町
県始良・伊佐地域振興局

◎病害虫は早期の発見・適期の防除

◎病害虫の発生状況は「県防除所」ホームページアドレス

https://www.pref.kagoshima.jp/ag/3/kad/boujoshou/index.html

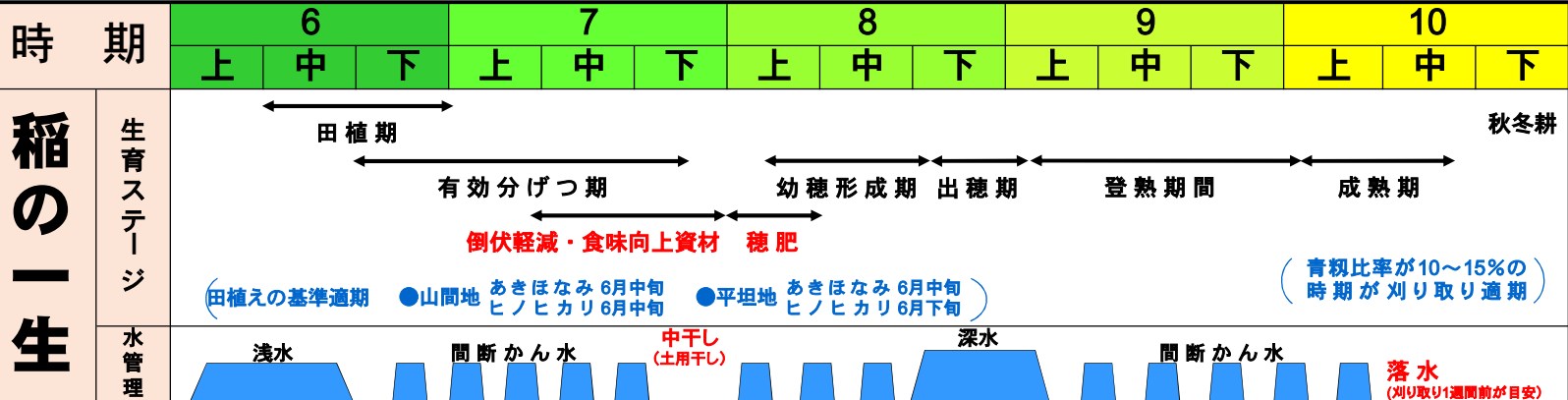
◎「売れる米づくり」は、生産プロ
フィール日誌の記帳から！

連絡先

JA農産部・東部営農センター TEL.(0995)55-7313
JA西部地域営農センター TEL.(0995)65-2041
JA北部地域営農センター TEL.(0995)54-1778

JA中部地域営農センター TEL.(0995)64-9891
県始良・伊佐地域振興局 TEL.(0995)63-8215

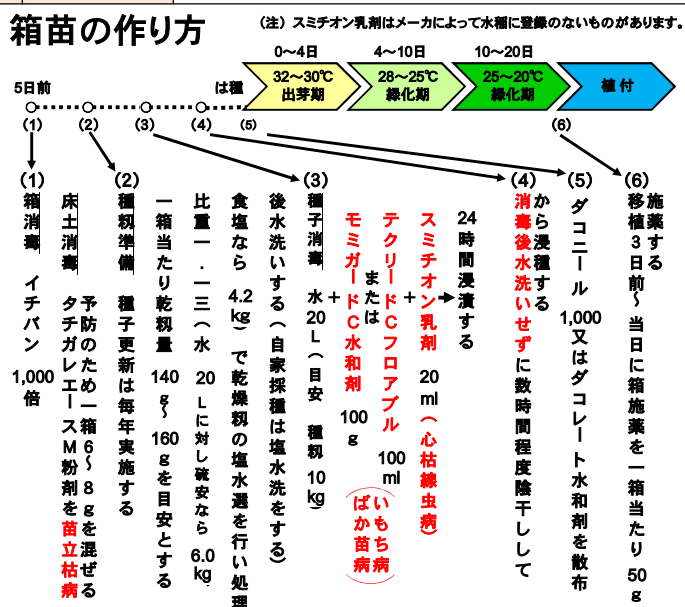
◎農薬の使用基準を守り飛散防止に努めましょう。



病害虫名	紋いも病 コブノメイガ 枯ちカメシメ 病	イヘナ カメシメ 病	葉いもち	ウコ ブノ カメ シメ 病	いもち 病	稲こ うじ 病	紋いも 病	いもち 病	トビ イロ ウシ カ	カメ シメ 病	トビ イロ ウシ カ
農薬名	防人(さきもり)箱粒剤 スクラム箱粒剤	スタークル粉剤 DL スミチオン乳剤	ブラシン粉剤 DL	オー モン ストラ ロム 粉剤 DL	コ ラ ト ッ ブ 粒 剤 5	モン ガ リ ッ ト 粒 剤	ダブルカットバリダトレポン 粉剤3DL(穂揃期まで)	ノ ン ブ ラ ス ト レ バ ス リ ダ 粉 剤 DL	ト レ ボ ン 粉 剤 DL		
10a当りの散布量	1箱当り 50g	1000倍 100L 3kg	3~4 kg	3~4 kg	3~4 kg	3~4 kg	3~4 kg	3~4 kg	3~4 kg		

病害虫名	紋いも病 コブノメイガ 枯ちカメシメ 病	イヘナ カメシメ 病	ウコ ブノ カメ シメ 病	稲こ うじ 病	紋いも 病	いもち 病	トビ イロ ウシ カ	カメ シメ 病	トビ イロ ウシ カ
農薬名	防人(さきもり)箱粒剤 スクラム箱粒剤	スタークル粉剤 DL スミチオン乳剤	オー モン ストラ ロム 粉剤 DL	モン ガ リ ッ ト 粒 剤	ダブルカットバリダトレポン 粉剤3DL(穂揃期まで)	ノ ン ブ ラ ス ト レ バ ス リ ダ 粉 剤 DL	ト レ ボ ン 粉 剤 DL		
10a当りの散布量	1箱当り 50g	1000倍 100L 3kg	3~4 kg	3~4 kg	3~4 kg	3~4 kg	3~4 kg		

農 薬 安 全 基 準					
※回数については、本剤での使用回数です。					
病 害 虫 名	農 薬 名	使用時期	回 数		
いもち病	ブラシン粉剤DL ブラシンフロアブル	収穫7日前まで	2回以内		
	コラトッブ粒剤5	葉いもちに対しては 初発10日前～初発時 穂いもちに対しては 出穂30日前～5日前まで			
いもち病、紋枯病	ダブルカットバリダフロアブル	穂揃期まで	2回以内		
稲こうじ病、紋枯病	モンガリット粒剤	収穫45日前まで	2回以内		
稲こうじ病	ドイツボルドーA	出穂10日前まで	－		
スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ)	スクミン	収穫60日前まで	2回以内		
カメムシ類 (イネクロカメムシ含む)	スミチオン乳剤	収穫21日前まで	2回以内		
	スタークル粒剤	収穫7日前まで	3回以内		
	スタークル粉剤DL スタークル液剤10				
ウンカ類（幼虫）、カメムシ類	オーケストラスタークルエア	収穫7日前まで	3回以内		
ウンカ類、カメムシ類	エクシードフロアブル	収穫7日前まで	3回以内		
ウンカ類、カメムシ類、コブノメイガ	トレボン粉剤DL トレボンEW	収穫7日前まで 収穫14日前まで	3回以内		
	ノンブラストレバリダ粉剤DL	収穫14日前まで	2回以内		
いもち病、紋枯病、 ウンカ類、カメムシ類	ダブルカットバリダ トレボン粉剤3DL	穂揃期まで	1回		
	ゴウケツモンスター粒剤	出穂5日前まで (但し、収穫45日前まで)			
紋枯病、 ウンカ類（幼虫）、カメムシ類	オーケストラロムダン モンカット粉剤DL	収穫14日前まで	2回以内		
※ いもち病耐性圃が発生しやすいことから、アミスター、イモチエース、風剤を含む農薬を使用する場合は、箱施薬剤及び本田散布剤のいずれか1回にしましょう。					
※ トビイロウシについては、発生予測情報に基づいた第1世代幼虫の防除が重要です。 (7月中旬～下旬)					
箱施薬の各病害虫に対する効果					
剤 名	播 種 同 時 処 理	い も ち 病	紋 枯 病	ウ ン カ 類	コ ブ ノ メイ ガ
フェルテラゼクサロン箱粒剤	可	－	－	◎	△
防 人 箱 粒 剤	可	○	－	◎	△
ス ク ラ ム 箱 粒 剤	可	○	◎	◎	△
◎効果大 ○効果あり △効果不足 －登録なし					



除草剤の使い方 (使用の際は必ずラベルを読んで下さい。)			
散布時期	除草剤名	10a当り散布量	雑草名
移植時～ノビエ 2.5葉期 (但し移植後30日まで)	イネキング1キロ粒剤 ※	1kg	水田一年生雑草 (ヒ1等)
移植時～ノビエ 2.5葉期 (但し移植後30日まで)	サラブレッドKAI1キロ粒剤	1kg	ウリカワ
移植時～ノビエ 4.0葉期 (但し移植後30日まで)	アシュラ1キロ粒剤 ※	1kg	マツバイ
移植時～ノビエ 2.5葉期 (但し移植後30日まで)	クサツク粒剤 (3キロ)	3kg	ホタルイ
移植時～ノビエ 2.5葉期 (但し移植後30日まで)	ウィニングランジャンボ	10a ッ	ミズガヤツリ
移植時～ノビエ 3.0葉期 (但し移植後30日まで)	エンペラージャンボ エンペラー豆つぶ250	250g	
移植後15日～ノビエ 4.0葉期 (但し収穫60日前まで)	ウィードコア1キロ粒剤 ※	1kg	一年生雑草 (ヒ1等) 多年生広葉雑草
移植後15日～55日 (但し収穫50日前まで)	バサグラン液剤	500～700ml	イネ科を除く一年生雑草 ウリカワ、ミズガヤツリ等
移植後20日～ノビエ 6.0葉期 (但し収穫30日前まで)	クリンチャーEW	100ml	ヒエ キシュウズメノヒエ
移植後15日～ノビエ 6.0葉期 (但し収穫50日前まで)	トメバスマF液剤	1,000ml	ヒエ ウリカワ ミズガヤツリ 等
移植後20日～ノビエ 5.0葉期 (但し収穫30日前まで)	ロイヤント乳剤	200ml	
※アシュラ、イネキング、ウィードコア1キロ粒剤は農薬用米品種の一部(みちから、ミズホチカラ、オオナリ、夢十色などの長粒種系)に使用した場合、白化、枯死などの影響があるので使用できません。			
使用上の注意			
水は湛水で全面散布し、かけ流しをしない。 薬害の恐れがあるので、散布後は補植しない。			
畦畔からバックを投げ込むだけの省力型。(風の強い日には散布しない) 水を5～6cmためて散布し、4日程度水をためる バックは水溶性なので、雨などでぬるさないようにする。			
ジャンボは、畦畔からバックを投げ込むだけの省力型。 豆つぶは、手やひしゃくを使って畦畔から散布できる省力型。 拡散性が高く、豆つぶはドローンでも使用可能。水を5～7cmためて散布する。			
水を3～5cmためて散布し、3～5日程度水をためる。イボクサに効果あり。			
落水・浅水状態で散布し、3日間は水を入れない。クログワイに効果あり。			
展着剤(ベタリン等)を加用し、25～100Lの水に希釈して使用する。 落水または湛水(水を3～5cmためて散布し4日程度水をためる)で使用する。 広葉雑草には効果が無いので注意する。			
展着剤は加用せず(不要)、70～100Lの水に希釈して使用する。 落水状態で散布する。落水状態にできない場合は極浅水で散布する。			
展着剤は加用せず(不要)、100Lの水に希釈して使用する。落水状態又は湛水(3cm程度、3～5日程度)で使用する。 落水状態にできない場合は極浅水で使用する。落水状態で散布した際は早い(3日以内)に入水してください。			

標準的施肥例と品種別栽培の留意事項			
資材名	10a当り施用量	特 徴	
ケイテツ	100kg	鉄分欠乏による秋落の防止。けい酸の補給による倒伏防止、増収・品質向上に役立ちます。	
ケイカル	100kg	茎や葉が丈夫になり病害虫、倒伏、冷害などに強くなります。登熟歩合が向上します。	
鉄入り苦土重焼燐	20～40kg	鉄分を含んだりん酸肥料です。根の生育を促進し、秋落防止や鉄欠乏の予防に効果があります。	
鉄入りシリカ	40～60kg	ケイ酸・鉄分を含んでいますので、健全な根を作り、秋落・根腐れを防止します。	
シリカサポート	40kg	高溶出のケイ酸により、倒伏軽減や受光体勢、登熟効果を高める効果が期待できます。	
基 肥			
肥料名	10a当り施用量	ヒノヒカリ	あきほなみ
骨粉入りあいり水稲	30kg	・ほ場の地力により施用量を調整する。	・ほ場の地力により施用量を調整する。
イネリッチ	30kg	・生育状況を見て穂肥を施用する。	・生育状況を見て穂肥を施用する。
ヒカリエース2号	35kg	—	—
一発型肥料	こめから一発・普通期用	・ほ場の地力により施用量を調整する。 ・穂肥は施用しない。	—
一発型肥料	一発イネリッチ普通期用	・側状施肥対応(全層施肥でも使用可能)	—
一発型肥料	こめから一発・晩生用	—	40kg
一発型肥料	一発イネリッチ晩生用	—	40kg
倒伏軽減 食味向上資材	米造り一番	・食味向上、倒伏軽減対策。出穂40日前に施用。	20kg
倒伏軽減 食味向上資材	ケイ酸カリ	・食味向上、高温対策。出穂40日前に施用。	20kg
穂 肥	BBNK-77	・生育状況を見て施用量を調整する。 ・出穂20日前に施用する。	10～15kg
(注) 一発型肥料のプラスチック殻については、ほ場から河川や海へ流出しないように注意しましょう。			
※ 標準的施肥例ですので、生育状況に応じた栽培管理を徹底しましょう。			

- ◎ 品質向上対策について
・登熟期に気温が高いと、「高温障害」により「心白米」等が発生するおそれがあります。このため、田植えを適期に行い、登熟期の高温を避けるようにしましょう。地域及び水利等のほ場条件に適した品種を選定しましょう。
- ◎ 抵抗性雑草について
・長年、同じ除草剤を使用し効かなくなった雑草が発生しているほ場には、抵抗性雑草対策剤として、ウィニングランジャンボ・アシュラ1キロ粒剤・イネキング1キロ粒剤・サラブレッドKAI1キロ粒剤・エンペラー豆つぶ250を使用しましょう。
- ◎ ウキクサ・藻類の対策について
・モグトン粒剤を発生始～発生盛期(収穫45日前まで) 10a当り2～3kg散布しましょう。湛水散布し、落水・かけ流しをしないようにしましょう。藻類には、部分的に散布しても効果があります。
- ◎ スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生ほ場では
・冬場に耕うんを行い殺菌しましょう。作業は寒い時期が効果的です。卵の塊をできるだけ除去しましょう。田植え後は浅水にしましょう。
- ◎ 稲こうじ病の発生ほ場では
・種子伝染するため、発生した水田からは採種しないようにしましょう。常陸地帯では窒素肥料の多施用を避けましょう。
・出穂20日前までに薬剤防除しましょう。
※ 雑油かすは、農薬として登録がとれておらず、魚毒性が非常に高いため、水田でのスクミリンゴガイ防除には使用できません。
※ 農薬は、容器包装に表示してある使用方法を確認して使用しましょう。

農薬をご購入の際は印鑑をご持参下さい。